

令和6年7月 報道機関との定例懇談会 要旨

1 日 時 令和6年7月1日(月)13:00~13:45

2 会 場 市長応接室

3 参加者 報道機関10社、市側

4 懇談の概要

(1) 情報提供項目

クーリングシェルターの指定、地域おこし協力隊の辞令交付式のほか、海上自衛隊潜水艦の一般公開など各種イベントを市長から9件お知らせした。

(2) 記者との質疑応答

クーリングシェルターの指定について

記 者 6月24日に指定したとのことだが、のぼり旗やポスターなど目印になるものを表示する予定はあるか。また、各施設に開館日・開館時間に加え、土日祝日なども開放する予定はあるのかお聞きしたい。

市 のぼり旗設置の予定はないが、対象施設の入り口にポスターを掲示する。利用時間は、各施設の開館時間で利用いただくこととなる。

久慈市津波避難訓練について

記 者 9月の避難訓練までに避難目標地点への案内看板の設置を完了し、それを目印に確認・訓練を行うとお聞きしたが、それを含め前回の訓練と違う内容や新しい内容があれば教えていただきたい。

市 避難目標地点を経由した避難をベースに実施したいと考えている。ただし、昨年度に地元から要望があった、新たな指定避難場所の追加(1カ所)と変更(1カ所)を行う予定。また、訓練時間の短縮など参加しやすい環境を整えていきたいと考えている。

防災週間に併せた地域住民の自主的な避難行動に向けた取組について

記 者 実施する団体の情報を事前にいただくことは可能か。

市 実施した団体から事後に報告をいただき、市HPで公表する予定。

久慈市津波避難訓練について

記 者 ①~④についてお聞きしたい

①昨年は11月に開催した訓練を9月1日(日)に変更した理由(ねらい)。

②実施日は今後ある程度固定するのか。

③避難目標地点への目印はどれくらい設置し終えたのか。

④今年度の参加見込みなど。

市 ①11月は早朝寒い時期であったこと、今年度は防災の日(9月1日)が日曜日と重なっていたため、今年度は9月で実施することとした。

②現時点においては実施日を固定する考えはない。夜間の避難訓練や予告なしで訓練

を実施してみても、などいろいろな意見をいただいている。ポイントを踏まえながら。それでも実施日時を固定するか、あるいは変則的にするか、寒い時期の避難訓練も必要ではないか等、参加者が少ない状況も鑑みながら、来年度に向けてまた検討をしていきたいと考えている。

③避難目標地点への目印は、全93カ所のうち35カ所設置済みで約4割となっている。避難訓練実施日までには、全カ所設置完了の見込み。

市長 ④昨年度は、目標3,500人に対し参加者が2,000人であった。まずは3,500人も参加目標に今年度も取り組みたい。

防災週間に併せた地域住民の自主的な避難行動に向けた取組について

記者 この取り組みは、初めて企画されたものという理解でよいか。また、参加目標をお聞きしたい。

市長 初めての取り組みである。これまでの避難訓練は、日曜日の早朝実施していたため、スポ少などで訓練に参加できないとの声があった。そのあたりも含め、早朝（自宅から）の津波避難訓練だけでなく、自宅にいないスポ少や企業の日中活動時間にも避難の仕方を検討してもらうことが、犠牲者をより少なくすることにつながるため、この取り組みを企画した。

個別に依頼文書を発送するほか、ホームページや広告等で周知を行いたい。9月1日の避難訓練に参加できない個人に対しても取組期間中に自主的に避難経路を確認するようメッセージを発信したい。

スポーツ少年団には1,000人程度所属していると情報を得ているので、担当課としては、半分の500人くらいに初年度は実施してもらいたいと考えている。

クーリングシェルターの指定について

記者 シェルターの要件をお聞きしたい。

市長 冷房設備があることと特別警戒アラート発令期間が開放義務となっているが、当市は警戒アラート発令時も自主的に開放することとした。

株式会社F・O・インターナショナルからのアイスリングの寄贈について

記者 寄贈いただくアイスリングは、授業中につける予定か。

市長 各学校の判断になるが、寄贈いただくものなので、学校時の着用についても推奨していただくよう、これからお願いしたいと考えている。

久慈市津波避難訓練について

記者 先月の川貫と宇部の自主防災組織の結成で、結成率が76.5%となった。100%に向けた市長の所感をお聞きしたい。また、今年度の高齢社会白書に、65歳以上の方が津波、地震、洪水時、どこに避難するかという項目があり、まず挙げたのが学校、そして公園であった。また回答をした38%が一人暮らしで、避難する手立てが必要だと白書に盛られている。65歳以上の一人暮らしが、久慈市に何人ぐらいいるのかお聞きしたい。

市長 高齢者に限らず、自宅で医療機器を使って生活している方など、一人で避難するというのが難しい方もいらっしゃる。隣近所で手を貸して一緒に逃げるということが必要だと思う。消防団は、いざというときに特別な仕事をしなくてはならないので、自主防災組織が、津波やがけ崩れ、洪水など地域の避難対応の要になると思う。自然災害は、いつ起きるか分からない。希望する地域の市民センターで自主防災組織の説明会を開催するなど、できるだけ早く全域に組織していきたいと思っている。

組織化された後は、自主防災組織の範囲内で、地域によって異なる世帯構成や状況などを確認してもらいながら、定期的な訓練も実践してもらいたい。まずは100%組織化を図り、どなたも犠牲にならないような活動体制にしていきたいと思っている。

市 65歳以上の一人暮らし世帯は、令和4年度末で3,398世帯である。

北限の海女の素潜りについて

記者 昨年は新型コロナウイルスの5類移行や「あまちゃん」10周年などで一昨年を大きく上回る入込数があったと伺っている。今年は全国的に夏の観光客が増加すると見込まれているが、今季の小袖海女センターの集客見通しや期待感などをお聞きしたい。

市 昨年は、コロナの5類移行、連続テレビ小説あまちゃんの再放送もあり、平成29年以降で一番多い入り込みであった。今年のGWは昨年の9割ぐらいの入込状況。ただ、今年ももぐらんぴあの開館30周年、三陸鉄道や久慈琥珀の開業40周年ということもあるので、コロナ禍前ぐらいの観光水準になってくれればと期待している。コロナ禍直前の入込が42,000～43,000人ぐらいであったので、まずはそこを目指していきたい。さらにPRを重ね、その上を目指していきたい。

週休3日制の施行について

記者 GW明けの開始から1カ月半余りが経過したが、取得実績や実際に利用した職員の感想、現時点での市の所見や今後の予定、他市町村からの問い合わせ状況などを聞かせてほしい。

市 施行した職員は、5月は38人、6月は47人、7月（予定）は28人。7月下旬をめどに、試した職員とそうでない職員からアンケートを取り、その結果を踏まえ、第2期の施行時期を8月中に検討したい。

全体からの聞き取りを行っていないため、個人的に聞いた範囲だが、勤務時間の延長についての負担感は思ったよりは感じていない、といった声があった。また、出勤日が1日少なくなるため、業務管理を以前よりもしっかりやれるようになった、といった話も聞いている。これらについては、今後はアンケートを取って検証していきたいと考えている。他市町村からの問い合わせは、広島県や、千葉県各市町村などからいただいている。

海開きと海水プール開きについて

記者 7月21日(日)に侍浜海水プール開きイベントが行われるが、内容が決まっていれば教えてもらいたい。また7月13日(土)に海開きする舟渡海水浴場のイベントについてお

聞かせ願いたい。

市 7月21日(日)の侍浜海水プール開きイベントは現在検討中。確定したら早めにお知らせする。7月13日(土)の海開きする舟渡海水浴場でのイベントは現在検討していない。

記者 海水浴場・海水プールの開業期間をお聞きしたい。

市 8月末までの予定。

以上